



西洋中世学研究者のための
デジタル・ヒューマニティーズ入門
趣旨説明

2024年2月13日 (火)

@東京大学本郷キャンパス小島ホール1階第2セミナー室

櫻田 宗紀 (アーヘン工科大学 / 神奈川大学)



◆ 本日のプログラム

13:30-13:50 趣旨説明

纒田宗紀 (アーヘン工科大学)

13:50-15:10 **TEI** – 文字史料をマークアップしてみる



小風尚樹 (千葉大学大学院 人文社会科学系教育研究機構 助教)

永崎研宣 (人文情報学研究所主席研究員)

15:10-16:50 **IIF** – 西洋中世写本の画像を加工してみる



小川潤 (人文学オープンデータ共同利用センター (CODH) 特任研究員)

中村覚 (東京大学 史料編纂所 助教)

17:00-17:30 ディスカッション



◆ 主催：西洋中世学会



◆ 共催：[歴史家ワークショップ](#)
[Tokyo Digital History](#)





◆ 西洋中世学会とは（学会HPより）

本学会は、日本における**西洋中世研究（歴史、文学、哲学、美術、音楽など）**を質量ともに進展させ、全国各地に散らばる**研究者相互の交流**を促すことを目標にして、2009年4月1日に設立されました。

専門・テーマの近い研究者同士が議論できる場や機会を積極的に作る一方で、学会誌の特集や大会シンポジウムを通して**学際的な研究**を推進します。

本学会が対象とする領域は、いわゆる「ヨーロッパ中世」にとどまらず、ビザンツ帝国やイスラーム世界をも含んでおり、古代末期から近世までを広い視野で考えてほしいと思っています。



◆ デジタル・ヒューマニティーズ (DH) とは？

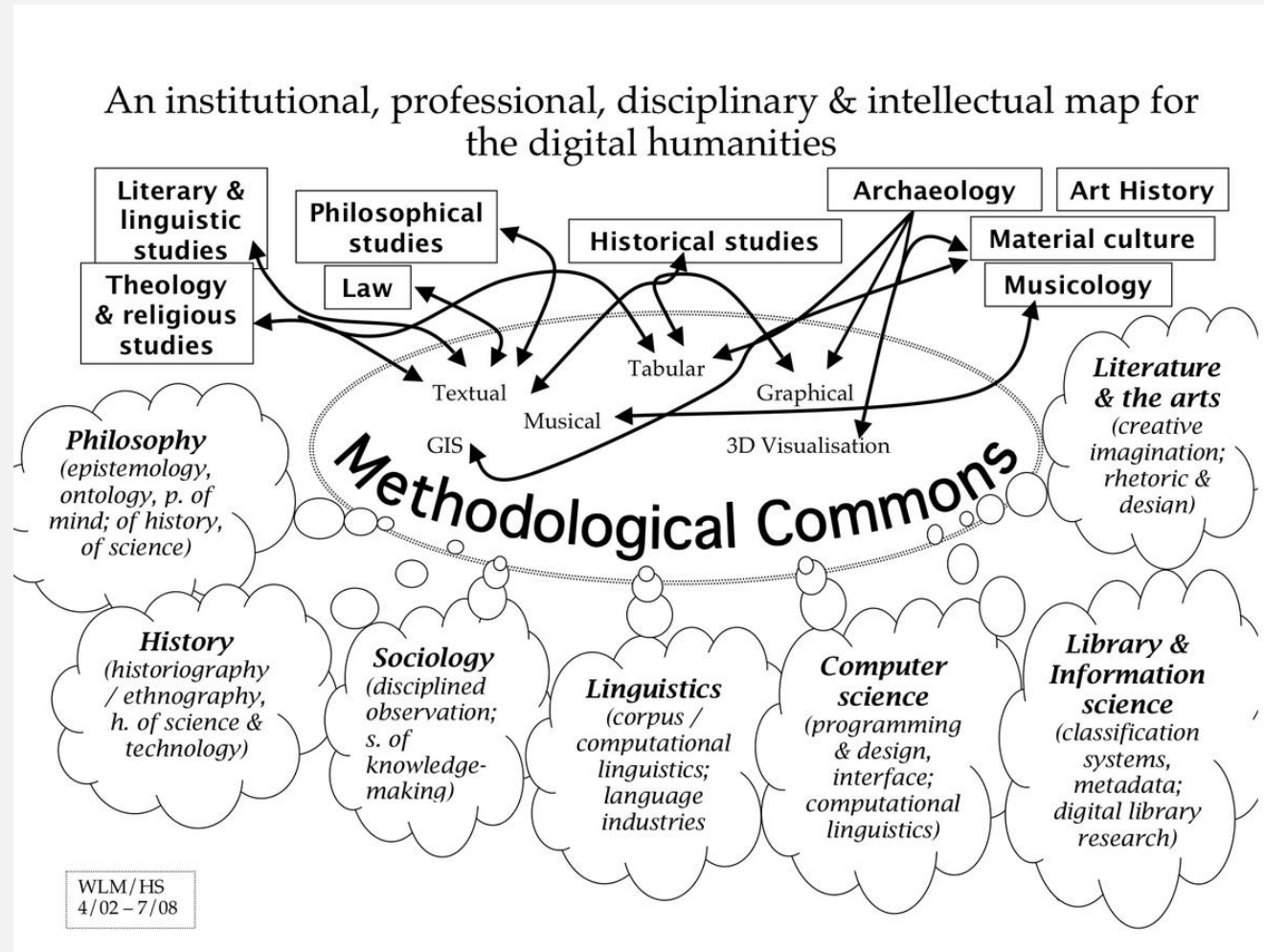
人文学の課題にデジタル技術を適用・応用する研究

◆ デジタル・ヒューマニティーズの基本的な理念

各分野の方法論を、デジタル技術を介して相互に共有する場に持ち寄って議論し、そこから新たな成果を生み出すだけでなく、さらにそれを各分野に持ち帰ってそれぞれに自らの方法論を再考する。

(永崎研宣「デジタル・ヒューマニティーズとテキスト研究」『日本近代文学』95巻、2016年、143頁)

◆ DHの理念：方法論の共有地 (Methodological Commons)





◆ DHの理念：シェアハウス





◆ デジタル中世学 (Digital Medieval Studies)

・ DHは中世学から生まれた

1940年代、神学者ロベルト・ブサがIBMと協力して
トマス・アクィナスの著作のインデックスを作成開始
= DHの起源

(当初はHumanities Computingと呼ばれた)

The screenshot shows the top section of the Index Thomisticus website. At the top, it reads "CORPUS THOMISTICUM" in blue, "INDEX THOMISTICUS" in red, and "by Roberto Busa SJ and associates" in blue. Below that, it says "web edition by Eduardo Bernot and Enrique Alarcón" and "English version" in smaller blue text. A search bar is labeled "Search:" and contains a text input field. Below the search bar are five buttons: "concordances", "terms", "works", "options", and "new search". Below the buttons, there is a large block of text in a light blue font, which is partially cut off. The visible text includes: "and that you want to search for all of the given terms within each of the textual units con", "only restriction that they be contiguous. However, you may override these settings by", "ing typed in the desired terms or expression, you can always press any of the followin", "ms (or expression) in their respective context.", "en term by checking or unchecking individual forms, and to examine statistical informa", "ncerning the occurrences of the given terms or expression in all listed works.", "any time to select which works (individually or by category) will be included in the sear".

[Index Thomisticus](#)

118著作・約11万語検索可能



◆ デジタル中世学 (Digital Medieval Studies) の歩み

- 1960年代、[Computers and the Humanities](#)誌 (1966～2004) で中世テキストを扱う研究の発表がさかん
- 1971年、カラマズー(International Congress on Medieval Studies)でデジタル中世学のセッション
‘The Medievalists and the Computer’ ([プログラムのアーカイブ](#))
- 1979年、テキスト史研究所 (IRHT) が [Le Médiéviste et l'ordinateur](#)誌創刊 (～2006)
- 2001年ドイツ・バンベルクで、2002年イタリア・パヴィアで、実践ワークショップを含む
デジタル中世学の研究集会 ([Mediaevistik und Neue Medien/ Studi medievali e cultura digitale](#))
- 2003年、**ウェブコミュニティ [Digital Medievalist](#) 開設**
→ 2005年、査読つき[オンライン雑誌](#)を創刊



◆ デジタル中世学 (Digital Medieval Studies) の歩み

- 2000年代、中世学のさまざまな研究プロジェクトが、DHの振興を促進
 - デジタル文献学 ([Digital Philology](#))、デジタル古書体学 ([Digital Palaeography](#))、デジタル古書冊学 ([Digital Codicology](#))
 - 大規模デジタルアーカイブの最初期の代表例：[Codices Electronici Ecclesiae Coloniensis](#) (2000年)

参照：阿部晃平「[中世ヨーロッパのラテン語写本 デジタル・ライブラリーまとめ](#)」

- 中世学の有名な学際的ジャーナルでデジタル特集

[Speculum 95/Sp.1 \(2017\)](#)、[Médiévales 73 \(2017\)](#)、[Das Mittelalter 24/1 \(2019\)](#)

(アメリカのDHについては、[山中美潮「アメリカ史研究とデジタル・ヒストリー」『立教アメリカンスタディーズ』40, 7-31頁、2018年](#)も参照)

- Digital Medieval Studiesをタイトルに冠した書籍

Laura K. Morreale and Sean Gilsdorf: [Digital Medieval Studies—Practice and Preservation](#), Amsterdam 2022 (書評)

Ambrosio, Antonella and Vitolo, Paola: [Medioevo digitale: Documenti e archivi / Arte e architettura](#), Roma 2023



◆ デジタル中世学 (Digital Medieval Studies) の情報源

- ・ 『[欧米圏デジタル・ヒューマニティーズの基礎知識](#)』 (文学通信、2021年)
- ・ 「中世研究とデジタル化」「中世研究とオンラインリソース」 『[中世イギリス文学入門](#)』 雄松堂出版、2008年
- ・ [菊池信彦](#) 「デジタル化の「その先」へ：ヨーロッパにおける中世写本のデジタル化の現状とデジタルヒューマニティーズ」 『情報の科学と技術』 65-4, 2015年、156-163頁
- ・ [纒田宗紀](#)・[小風尚樹](#) 「アトリエに吹く風：デジタル・ヒストリーと史料」 『西洋史学』 268、2019年、36-49頁
- ・ [阿部晃平](#) 「中世ヨーロッパのラテン語写本 デジタル・ライブラリーまとめ」
- ・ [山本成生](#) 「フランス史研究におけるオンライン情報の活用」
- ・ [おすすめIIFサイト](#) (人文学オープンデータ共同利用センター)

- ・ [Digital Medievalist](#) メーリングリスト、Twitter
- ・ ドイツ語圏：[Mittelalter. Interdisziplinäre Forschung und Rezeptionsgeschichte](#)、[RIDE – A review journal for digital editions and resources](#)、[グラーツ](#)、[ケルン](#)、[ヴッパータール](#)、[ゲッティンゲン](#)、[デジタル学術編集版 \(Digital Scholarly Editions\) のカタログ](#)
- ・ フランス語圏：[CIHAM](#)、[国立古文書学校](#)
- ・ イタリア語圏：[AIUCD](#) (人文情報学・デジタル文化協会)





◆ TEI活用事例

- openMGH: <https://www.mgh.de/en/digital-mgh/openmgh>